

平成30年8月1日

会員各位

協会だよりー308(8月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス：

- 第236回(一泊研修会)が無事終了しました。
日時：平成30年7月13日(金)～7月14日(土)
見学先：パンパシフィック・カップー(株)佐賀製錬所
宿泊先：ホテル三泉閣（大分県別府市北浜）
参加会社数：29社（40人）



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 事務局より（八月度の予定）
【予定事項】
- 三. 研修会見学記
（横浜金属株式会社 岡野由宇）
- 四. 【雑学】太田道灌の銅像を巡って
（2）（小林尚道氏寄稿）

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー307（7月号）をHPに更新及び各会員にメールで送信（7/03）
- ② HPの更新
最近の活動：236回一泊月例会内容を追加
- ③ 第236回月例会(一泊研修会)の実施
日時：平成30年7月13日(金)
見学先：パンパシフィック・カップー株式会社（PPC）佐賀製錬所
参加会員社数：29社（40名）



写真；左 P P C会議室で説明受ける、 右：工場見学で猛暑の中煙突の前にて
P P C(株)佐賀製錬所概要：

- (1) 創業開始：1916 年（大正 5 年）9 月
- (2) 従業員数：483 名（平成 30 年 4 月 1 日現在）
- (3) 資本関係：JXTG ホールディング 100%子会社・J X金属と三井金属鉱業
の合弁会社で出資比率はJ X金属 67.8%、三井金属鉱業 32.2%
- (4) 特徴：
 - 高度なコンピューター制御による一貫生産体制
 - 世界最大級の銅生産 45 万トン工場
 - 資源のリサイクルに貢献（電線・プリント基板・貴金属など）
 - 受入から自溶炉まで密閉敷ベルトコンベアー搬送で環境保全に貢献

④ 第2回運営委員会の開催

日時：平成30年7月19日（木）16：00－17：00

場所：堺化学工業(株)東京支店会議室（ザイマックス岩本町ビル）

議題：第236回月例会の反省と9月の共催講演会打合せ

出席会社：堺化学工業(株)・石福金属興業(株)・日誠金属(株)・クラリアント触媒(株)・
横浜金属(株)・安田薬品(株)・相田化学工業(株)・中外鉱業(株)・日興リカ(株)
(株)光正 10 社

⑤ 新規加入者の紹介

賛助会員として8月の活動から下記の会社が入会されました。

会社名： 阪和興業株式会社（東京都中央区） 賛助会員 www.hanwa.co.jp

資本金：45,651,276.79千円 代表者：代表取締役 古川 弘成

協会担当者：特殊金属部特殊金属第二課 植田 奈菜子様

⑥ 相田化学工業株式会社が運営委員会のメンバーになりました。

運営委員会に空席があましたが、この度7月の運営委員会から参加することになりました。これで定数の8社が揃いました。

協会担当者はAu 営業部 部長 佐藤辰男様です。

[予定事項]

- ① 9月に行われる「触媒工業会」との共催講演会の講師・講演内容並びに日時・会場を確定し追って皆様に連絡させていただきます。

2. 事務局（8月度の出勤予定）

出勤予定●：9日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
7/29	7/30	7/31	1	2	3	4
×	×		●	×	●	×
5	6	7	8	9	10	11
×	×	●	×	●	×	×
12	13	14	15	16	17	18
×	×	●	×	×	×	×
19	20	21	22	23	24	25
×	×	●	×	●	×	×
26	27	28	29	30	31	9/1
×	×	●	×	×	●	×

（文責：専務理事）

3. 研修会見学記

横浜金属㈱ 岡野由宇

2018年7月13日、14日にて2018年度の一泊研修会に参加させて頂きました。
大分空港へは13日10時集合、総勢40名にて食堂、関の瀬へ移動美味しい昼食を頂き、PMより今年の見学先となる念願のPPC（パンパシフィックカッパー株式会社）佐賀関精錬所へお邪魔させて頂きました。

到着後一行は鈴木所長より製錬所概要の説明をして頂きました。
佐賀関精錬所では銅精鉱を130万t/年、故銅を8万t/年、スラッジ等10万t/年の精錬を行っており、銅精鉱の仕入れ先はチリ、オーストラリア、ペルー等がメインとなり100%輸入原料との事でした。輸入した銅精鉱の品位は約30%、その後、自溶炉の工程にてマットと呼ばれる65%程の品位となり、転炉、精製炉などの工程を通りアノードとなります。
見学工程では電解施設を見学させて頂きました。アノードの品位は99.5%、重量約375kg、大きさは畳2〜3枚分はあるアノードを天井クレーンで一度に50枚運んでいる様子は圧巻でした。

また精錬所内の山の頂上にある大煙突を見学させて頂きました。
大煙突は200mあり根本から見ると非常に巨大で、精錬所に向かっている際も遠くから見えていたので町のランドマーク的な存在になっているように感じました。また煙突は2台目になっているということで佐賀関精錬所の歴史の深さを感じました。また講義をして頂いていた大会議室には歴代所長の写真、古いものは自画像が飾っており、ここでも歴史の深さを感じさせて頂きました。ちなみに最新の写真は和気元会長の物となっております。

佐賀関精錬所は1916年創業との事で、長い歴史ある精錬所ではありますが、近代化された各種の設備等を備えた素晴らしい精錬所でした。
今回の見学を受け入れて下さいましたパンパシフィックカッパー様、また見学、宿泊等の手配にご尽力頂きました安田会長並びにJX金属下村様へ改めて御礼を申し上げます。
誠にありがとう御座いました。

【雑学】太田道灌の銅像を巡って（2）

岩槻城址公園は旧岩槻区役所（来春完工の岩槻人形博物館）より 1200m 東方面へ向かった元荒川の手前低地にある。

【岩槻城址公園】さいたま市岩槻区太田 3-4

岩槻城（岩付城）の開祖は大田道真・太田道灌の父子であろうが、江戸時代には岩槻藩の藩庁が置かれ、幕末には大岡家の所領地であった。



「黒門」の名で親しまれている岩槻城門



城門より坂を下ると、綺麗な朱塗りの橋が架かった蓮池がある。蓮の花は早朝に開き日中は萎む。残念ながら午後の訪問だったので、開花は見られなかった。



平成 23 年（2011）2 月 18 日、「やまぶき」が岩槻区の花として制定された。やはり太

田道灌の山吹の花伝説にちなんだものと思われる。

⑥ 【川越市役所前の銅像】 埼玉県川越市元町 1-3-1

道灌公の銅像は昭和 47 年（1972）川越市制 50 周年を記念して建立された。



川越市役所と市役所前の太田道灌公銅像



【川越御殿】 埼玉県川越市郭町 2-13-1

川越城は初雁城ともいわれ長禄元年（1457）に、扇谷上杉持朝(おおぎがやつうえすぎもちとも)が、太田道真・道灌父子に命じて築城させた。現在埼玉県指定文化財となっている「川越城本丸御殿」は嘉永元年（1848）に時の川越藩主松平斉典が造営したものである



川越市制 60 周年を記念して昭和 57 年（1982）市の花を「山吹」に決定した。

やはり川越の始祖、太田道灌にちなんだものと思われる。岩槻と同じ花であるが、岩槻より 30 年早い制定である。

川越御殿より市役所に向かう途中に「道灌まんじゅう」の看板を掲げ、ウサギの人形が店先にある菓子舗に出会った。道灌さんを巡る散歩をしている身として思わず店に飛び込んだ。道灌まんじゅうは一個、90円で旨味であった。土産に9個入りを購入する。



菓舗「道灌」 埼玉県川越市郭町 2-11-3



⑦ 【長福寺境内の銅像】 埼玉県川越市鯨井 1142

東武東上線の川越駅より二つ目が霞ヶ関駅である。ここより20分ほど北に歩いたところ県道川越毛呂山線（39号線）沿いに長福寺がある。上井の交差点を直進し、長福寺手前の交差点にはローソン鯨井店がある。霞ヶ関駅近辺には、東京国際大学や東洋大学工学部のキャンパスがあるので、田園風景が広がる郊外にしては、霞ヶ関駅は思ったより立派な作りである（もっと貧弱化と思った）。

長福寺は雲崗俊徳禅師（うんこうしゅんとくぜんじ）が開いた曹洞宗のお寺で、雲崗禅師に深く帰依した太田資長はここで出家し、太田道灌を名乗るようになった。従って他の銅像は武士の姿であるが、この銅像は法衣姿である。



11ヶ所の銅像のうち、7ヶ所を制覇した。後は埼玉県越生町の龍穩寺、長野県佐久市、静岡県東伊豆町熱川、新宿中央公園の4ヶ所を残すのみである。新宿を除くと一寸遠隔地であるのだが？
(次号へ続く)【執筆：小林尚道】